



こんにちは

白子の議会

です

第116号

平成27年5月15日

編集発行

千葉県白子町議会

☎0475(33)2169



▲ チューリップ祭りの会場を盛り上げる拓殖大学紅陵高等学校吹奏楽部によるマーチング演奏

第1回 定 例 会

平成27年第1回定例会が3月9日と13日に開催されました。
一般質問は、4名の議員が町政をただしました。



- 4議員が一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～5ページ
- 条例の改正・補正予算・新年度予算の質疑応答・・・・・・・6・7ページ
- こんなことが決まりました・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8ページ

町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は6月19日の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。☎33-2169 白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

一般質問

町政をきく

ICTの活用による地方創生について

宗島 理仁 議員

議員 ICTの一層の利活用により、農業・医療・教育・防災など、各分野で地域が直面する課題解決に貢献し、地域の活性化に繋がると思っています。

例えば、ICTと医療・

介護の分野では、在宅医療に関わる職種間で、診療情報やケアプラン等の情報共有による円滑なコミュニケーションを実現できるとしています。

このように、ICT利活用を我が町で策定する総合戦略の中に、どのように反映していくのか、見解を伺います。

関連した取り組みを

予定

町長 地方創生先行型事業により、外国語に対応した観光情報サイトの構築や、農産物のインターネットを活用した販売体

制の整備など、ICTに関連した取り組みを予定しております。

オープンデータの活用について

議員 オープンデータの活用が国をはじめ、自治体においても取り組みが活発化しています。

今後、町の根幹を支える職員の数は将来的に減っていくことが確実です。

少ない人員で効率的・確実性を持った業務を行うためにもオープンデータを積極的に活用すべきだと思いますが、町長の見解を伺います。

また、若い人たちの地域連携が弱っている中、行政への参画に結びつけるため千葉市が行っている「ちばレポ」のようにオープンデータを活用す

べきです。

若い人たちが早くからまちづくりに参加ができること、また、その意見が目に見えて反映されることで、行政参加への意識の向上のみならず、ふるさと白子に愛着を持ち、町を意識する行動が芽生え、地方創生に繋がっていくと思います。が、町長の見解を伺います。

取り組みを研究・

推進する

町長 オープンデータの利活用については、電子行政版オープンデータ戦略に基づきまして取り組みを推進しているところです。

住民と行政間でのICTを使用し、地域の課題を共有、合理的・効果的に解決していくような取り組みは、小さい町では政令指定都市のようにはいきませんが、研究の価値はあると思います。

ふるさと納税に

ついて

議員 ふるさと納税は、減税対象となる寄付の上限額が住民税の1割から2割に引き上げられ、また、納税手続きを簡素化するため、税務署への確定申告を不要とし、利用の拡大を目指しています。

過熱気味の特産品競争を避け、確かな寄付金の確保に努めるためには、使い道の明確化と利用しやすさ、そして、広報の充実の3点が重要だと思いますが見解を伺います。

これまで以上に

推進する

町長 他の市町村の事例も参考にし、特典の中身も検討、制度の充実、さらにホームページなどで広報の強化など、これまでに以上に推進をしていきたいと考えています。

地方創生の方針施策は

東海林 東治 議員

議員 地方創生における長期戦略の基本姿勢において、地域の責任で知恵をしぼり、地域住民の発想を存分に発揮できるものになければならないと思うが、内容を伺います。

白子町の特徴を活かし 外部人材の導入

町長 議会、住民、若者の意見を尊重し、外部人材の活用を検討していきます。

プレミアム商品券の 展開は

議員 地域消費喚起支援型は、消費喚起と生活困窮者を補助し、子育て世代や高齢者への優先権を設けるのか。および、施策の内容を伺います。

住民周知徹底と活用

商工観光課長 事業者登録は4月から6月に行います。周知は、全世帯に郵便通知を行い、枚数は1万セットを予定しており、その他、細部にわたって検討してまいります。



まちおこしについて

議員 オリンピック開催に伴い、これを起点にオリンピックの合宿誘致活動を取り入れ、まちおこしにつなげる予定はあるのか伺います。

検討調査が必要

町長 ホテル組合、観光協会等々と協議し、受け入れ可能か調査してまいります。

都市部との 姉妹提携について

議員 都市部と地方で人口が二極化している中で、都市部との交流を図り、姉妹都市提携を結び、白子町の特徴を発信することで、人口減少対策と地域活性化につなげていくべきだと思うが、施策を伺います。

相手との相互理解

町長 都市部に住む若者の4割以上が地方に住みたいと希望している調査結果もあるので、姉妹提携は、相手との相互理解のもとで検討してまいります。



九十九里浜

地元産品活用で 食の開発奨励へ

議員 伝統的な食材を活かした食は生活を豊かにし、生産者を守る事に繋がっていくと思います。多くの食に携る方々に開発奨励制度を幅広く利用できる施策はあるか伺います。

開発奨励制度の充実

町長 ご当地グルメは推進しております。今後、開発試作者に対し、開発に係わる材料費、PR費用の助成制度を進めていきます。

魅力の町白子百選 広報活動について

議員 ホームページ、東京駅の看板だけでなく、来訪者アンケートの活用や、FM放送局を活用した広報活動を取り入れるべきと思いますが施策はあるか伺います。

広報活動の強化

町長 FM放送局の活用を経費面、効果等を検討し、精査してまいります。

耕作放棄地再生を

議員 放棄地の拡大に対し、オーナー制度の施策はあるか伺います。

放棄地解消策を検討

町長 市民農園制度等での解消は疑問で、農業の規模拡大等を検討します。

おもてなしの考えと進め方

梅澤 哲夫 議員

いただきます。

議員 白子町における産業は農業と観光が主となっております。その中で新年度予算において、「おもてなし」関連が組まれておりますが町においてはおもてなしをどのように考え、町に取り入れるのか伺います。

向上委員会を中心に

町長 町観光発展にむけこれまで東京駅への看板設置、またパンフレット、情報誌の発行などをして来ましたが、競争激化する中で発展成長する為にピーターをいかにふやすか、受け入れる側のおもてなしの心（挨拶、マナー、おいしい料理、清潔なトイレ）でおもてなし元年として取り組み、本年度若い人中心に15名で、おもてなし向上委員会を立ち上げ活動してい

今後の維持管理は

議員 景観美化の目的で植樹されている桜をはじめアジサイ、その他の花樹の維持管理について、一部せつかく植樹されても雑草におおわれたり枯れてしまったりしているものもあります。

農作業の関係からじゃま扱いされたりの声も聞かれます。今後の維持管理について伺います。

町民の手伝いを いただきながら

町長 町においては堤防沿い中心に二千本の桜、その他の樹木をあわせると一万三千本があり、管理については所管する各課が中心となり、シルバー人材センターの活用等で行っています。

植え付け当初は、地域の役員の方の了解を得ておりました。今は、多面的支援交付金事業を中心にして行っています。町だけでは全部の管理は出来ません。町民の皆様のお手伝いをいただきたい。



しらこ桜

南白亀川の活用は

議員 津波対策からの工事としての河口の護岸、上流の新川、内谷川のそれぞれの工事が進んでいます。

町においては河川の現情、親しみを目的の一部として、イカダ登り競争を行っておりますが、南白亀川を観光利用として、活用、再成は考えているのか伺います。

応援していきたい

町長 河川を利用した観

光では遊覧船、屋方船が考えられます。具体的な話が出れば応援していきたい。

マリンスポーツについては、安全性、騒音問題等の近隣住民生活を考える中で、ルールとマナーを守り共存できるレジャー観光にしなければと思います。基本的には南白亀川の活用は賛成です。

町の地方創生は

議員 国において少子高齢社会における地方活性を目指し、地方創生について国会等で言われておりますが、町においてはどんな考えをしているのか伺います。

若い人の住む

町づくり

町長 27年度中に総合戦略の策定をする為に幅広い年代、地域の人達と産業界からの意見を聞き特に若い人が住んでくれる町づくりを目標に、力を

あわせてじっくりとやっていきたい。

地方創生と町活性は

議員 地方創生を町活性にどう考えていくのか。町においては毎年視察研修を行いそれぞれの地方の実情等を見聞きしております。海に面した地方の町として地方創生の面で里山資源の活用が考えられないか。一三年前視察した群馬県川場村などを参考に、都市部との連携をはかれないか伺います。

地方のいいところ

前面に

町長 毎年視察を行っております。資料等も相当あります。それらを相応に検討し時間をおって実現されております。

都市部との比較だけでなく地方のいいところを前面に出して原点とし立上げるのが地方創生、新しくつくると言うことだと思います。

どのように変わる国保広域化

市川 隆子 議員

議員 年金生活者や自営業者が多く加入し、保険税に事業者負担もない国保は相当額の国庫負担なしに維持できない。これはかつて国も認めていた国保財政の原則です。

2003年の閣議決定で、国保の運営主体を都道府県単位の広域組織に切りかえることを提唱し、今年2月には国保運営を都道府県に移管する案を全国知事会等に示し了承されたとのことですが、どの程度の説明を受けているのか伺います。

財政運営を

県に一本化

町長 30年度から施行と聞いています。基本的な仕組みは財政運営が県に一本化され、保険料の賦課徴収業務は町の役割とされています。保険料は県から町に対して、分賦

金等標準料率が示され、町が保険料率を決定します。その他資格管理保健事業についても、地域住民と最も身近な関係にあることから、町が担う方向で検討されています。

低米価

国に要望を

議員 昨年、農家は米価引き下げで大幅な収入減となりました。政府が大規模化・集約化の旗を振ってきたのですが、そうした農家で経営が大変になっています。

低米価により、長生郡の首長が連名で要望書を出しました。この認識を共有して進めていくことが大事だと思うが、町長の見解を伺います。

要望していく

町長 昨年10月に連名で

要望書を出しましたが、なかなか米価を上げるということには繋がっていません。

27年度からの稲作農業は、各種の制度や交付金の活用を踏まえ、担い手が何とか意欲を持って米生産が続けられるような制度を、他町村とともに国に対し要望していきたいと思っています。

低米価による

収入減は

議員 政府は、競争力がない農業はダメだとキャンペーンを張って規模拡大を進めています。更に、中央会は地域の農協のサポート役に徹してほしいと、JA全中を解体しました。JA全中の権限を剥がせば全国的な結集力が弱まり、TPP反対運動のエネルギーを削ぐことができるかと踏んでいます。

こうした中、低米価による収入減はどのくらいになるのか伺います。

1億4000万円減

町長 協同から競争へと舵が切られつつあることに大きな疑問を持つております。農村や地方の危機に繋がることであり、全中の解体などはまさにその第一段階であり、憤りを感じています。

米の収入減ですが、概算で町の作付面積約650haで平均反収が9俵弱、539kg、俵数で合計5万4000俵になります。これに平均単価を掛けると、1億4000万円という大きな額の減収になったことになります。



田植え風景

人口減少対策地域の産業とその具体化

議員 政府が地方創生の名で具体化した施策には、地域産業の振興、地方への人材還流、若者雇用の拡大や結婚、出産、子育てへの応援など自治体の成功例を紹介し、効果的な施策を支援する内容も含まれています。

人口を増やすには、地域の産業とそれを具体化する町の施策だと思えますが、地方創生策をどのように生かしていくのか伺います。

今ある産業を

安定・向上させる

町長 地方創生の中で、このことを一緒に解決していく課題だと思っていますが、基本は、今ある産業を安定させ、向上させることというのが私の考え方の基本です。

条例の改正及び補正予算に 対する質疑・応答

広域市町村圏組合規約の 一部改正について

議案第1号

【市川隆子 議員】

議員 広域の教育委員会は教科書選定に関わるのか伺います。

また、委員構成が町では保護者代表が選出されているが、広域では入れないのか伺います。

教育課長 教科書採択

は、長生地区教科書選定採択委員会で審議しています。広域の教育委員会では、法改正により、保護者枠の教育委員を採用することを決定したと聞いております。

国民健康保険条例の 一部改正について

議案第3号

【三橋昌好 議員】

議員 保険税11万円引き上げると他町村との差がなくなり、白子町の魅力の減少にならないか伺います。

また、影響額はどの程度か伺います。

町長 引き上げる額は5万円に抑えております。負担の公平の意味から上げざるを得ないものです。

住民課長 世帯数で約100世帯、税額で370万円程度の増収が見込まれます。

【市川隆子 議員】

議員 国保加入世帯は、低所得者も多く、法定減免等の低所得者対策は拡大されるのか伺います。住民課長 今後、条例改正により、2割軽減、5割軽減の拡大を予定しており、370万円程度の額が軽減される見込みです。

介護保険条例の一部改正 について

議案第4号

【市川隆子 議員】

議員 第6期から保険料

が9段階になり、基準額で月5,500円と大幅な値上げになりますが、影響額について伺います。保健福祉課長 第5期保険料は4,200円で、第6期は31%増額します。影響は、26年度と比較して約5,000万円の増額となります。

一般会計第5回歳入歳出 補正予算について

議案第16号

【宗島理仁 議員】

議員 外国人観光客おもてなし事業補助金について、大田区が実践している外国人受け入れ事業等、様々な施策を研究し、反映すべきと思いますが、内容を伺います。商工観光課長 キャッシュレス化等、外国人観光客が利用しやすいような施策の実現を目指してまいります。

【市川隆子 議員】

議員 住宅リフォーム助成事業の実績を件数、金額で伺います。建設課長 26年度の実

績は27戸ありました。事業費は、5,678万7,000円で、それが町内に経済効果ができたということですので。これについて町の補助金は3,832万円交付しました。

【板倉正道 議員】

議員 リフォーム事業の内容に関する周知徹底について伺います。

平成27年度一般会計及び特別会計予算の質疑・応答

一 般 会 計

(議案第21号)

白子玉ねぎについて

【大和多正之 議員】

議員 白子町の玉ねぎも全国的に知名度が出ているので商標登録でブランド化し農業所得アップに繋げる考えがあるか伺います。

町長 玉ねぎもブランド化もしてきたようなので、商標登録の発想は良いので検討致します。

町長 リフォーム事業は1回限りの補助事業です。内容は住宅に係る太陽光発電、浄化槽、屋根瓦の葺き替え、内外装整備など様々です。計画的に改修工事ができるように工務店等の業者に対しても、周知徹底できるように考えていきます。

小学校のエアコン設置 について

議員 夏休みに3小学校をサマースクールで開放するようなので子供達のことを考えるとエアコンは必要だと思っております。考えがあるか伺います。町長 エアコンは保護者の声もありますが、まずは保育所設置後にご理解をお願い致します。

子ども医療費について

【大和秀一 議員】

議員 子ども医療費助成事業に於いて、今年度より医療費の無料化の拡大を実施する理由を伺います。

町長 他町村より先んじた無料化はしないという考え方でしたが、県内40

市町村がすでに中学3年生まで通院、入院の無料化が実施されており、近隣では高校生まで拡大されている状況を鑑みて判断しました。子どもの数の減少を考えると、大きな負担増にはならないと考えております。

げんき君・

テニスコートについて

【板倉正道 議員】

議員 マスコットキャラクター運営事業について伺います。

また、白子中学校のテニスコートについて、町民に対する夜間の利用時間について伺います。

町長 げんき君は、一作目・二作目については職員により対応してきます

たが、三作目は機能性を重視し、より白子町をアピールできるような、専用のスタッフを雇用いたします。

また、テニスコートについては、午後9時まで利用可能です。

避難行動

要支援者について

【市川隆子 議員】

議員 避難行動要支援者名簿運用システムでの調査方法と対象者について伺います。

保健福祉課長 名簿は総務課で整備されていますが、一人で避難できない方が対象になります。さらに障がい者等も追加し地図上でマッピングできるようにシステムにしたいと考えています。

消防団について

【今関勝巳 議員】

議員 全国各地に自然災害が多く発生している中で、第七支団の団員の確保ができているのか、消防施設整備費負担金の内容について伺います。

総務課長 消防団員数は、確保できていると思います。消防ポンプ車が2台積載型のもの、ポンプと合わせて5台を整備するという事です。

国保会計

（議案第22号）

ヘルスアップ事業

について

【市川隆子 議員】

議員 ヘルスアップ事業の内容について伺います。

住民課長 医療費の適正化を図るための国庫補助事業であり、介護と検診と医療のデータを分析するものです。

後期高齢会計

（議案第23号）

滞納処分について

【市川隆子 議員】

議員 保険料滞納者がいるのか。また、短期証や資格証明書を発行しているのか伺います。

住民課長 滞納者は合計20名で、短期証は1名発行しており、資格証明書は発行していません。

介護保険会計

（議案第24号）

保険料段階について

【市川隆子 議員】

議員 施設入所等で配偶者と別世帯になった場合、一定額以上の所得があれば段階が上がるのか伺います。

保健福祉課長 別世帯であれば所得は個人になります。ただ配偶者がいて一定額以上の預貯金がある場合など、個人プラス配偶者の所得という考え方で高額介護サービス費など若干見直しされます。



同意

◇白子町副町長の選任につき同意を求めることについて

白子町副町長に次の者が提案され、賛成多数で同意されました。

氏名 長島 義行(再任)
住所 白子町剃金465
番地(剃金西区)

◇白子町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

白子町固定資産評価審査委員会委員に次の者が提案され、全員賛成で同意されました。

氏名 高山 林作(再任)
住所 白子町関1585
番地(関北区)

◇教育委員会教育委員の任命につき同意を求めることについて

教育委員会教育委員に次の者が提案され、全員賛成で同意されました。

氏名 齊藤由加里(新任)
住所 白子町幸治3576
番地19(幸治東区)

推薦

◆農業委員会委員の推薦について

議会推薦の農業委員会委員に次の2名の者が推薦されました。

氏名 田邊 淳子
住所 白子町五井740番地1(五井西区)

氏名 吉野 定子
住所 白子町幸治350番地(幸治西区)

議案内容

◎長生郡市広域市町村圏組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議(可決)

◎白子町一般職の職員の給与等に関する条例及び白子町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正(可決)

◎白子町国民健康保険税条例の一部改正(可決)

◎白子町介護保険条例の一部改正(可決)

◎白子町地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正(可決)

◎白子町指定介護予防支援等の事業の人員、運営等に関する基準を定める条例の制定(可決)

◎白子町立保育所条例の制定(可決)

◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定(可決)

◎白子町教育長の職務に専念する義務の特例及び勤務時間に関する条例の制定(可決)

◎白子町学校給食センター条例の制定(可決)

◎その他議案

白子町学校給食共同調理所改築工事(建築工事)請負契約の変更についてほか工事請負契約の変更が4件、平成26年度補正予算及び平成27年度新年度予算は賛成多数で原案のとおり可決されました。尚、詳細は、白子広報4月号をご覧下さい。



永年在職議員表彰

平成27年議員に対し表彰状の伝達が行われました。この表彰は、全国町村議会議長会より永年に亘り地域振興と地方自治の進展に尽くされた功績により表彰されるものです。本町から三名の議員

が表彰されました。心から祝い申し上げます。

自治功労者

(議員在職十五年以上)

北田 頼光 議員
三橋 昌好 議員
大多和 正之 議員



編集後記

白子町60周年記念式典が盛大に行われました。行政を初め、議員一同町の発展に全力を尽くす所存でございます。

さて、議会広報は、議会広報編集委員7名で編集しており、地域住民の皆様には、議会記録を公開するとともに、行政監視や政策提案など議会の様々な活動をお届けしつつ、また、皆様のご意見や批評なども期待する双方向コミュニケーションの役割を担っております。

議会の持つべき役割や機能がよく分る内容となっているか、読者の皆様には伝わりやすい表現となっているかを考えながら編集しております。

今後も、「読みたくなる・役に立つ」、そして議会への住民理解に繋がっていくような議会広報の編集に努めてまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

酒井 良信